

## 記事内容

- ☆平和行動in広島
- ☆平和行動in長崎
- ☆ネット21運動「自然体験プランin尾瀬」  
「山の学校inときがわ」
- ☆ピークカットアクション／9月の行動予定表
- ☆あけぼのビル

## ～語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で 核兵器廃絶と恒久平和を実現しよう～

### 2024平和行動in広島・in長崎

#### 平和行動in広島

8月4日(日)～6日(火)に、「平和行動in広島」が開催され、連合埼玉から15名が参加しました。

1日目は呉市にある「てつのかじら館」「大和ミュージアム」を見学し、大戦当時日本が戦争に走ってしまった経緯などについて学びました。2日目は、広島平和祈念公園のガイドツアー、平和資料館見学では、戦争の悲惨さを改めて学びました。午後からは、被爆直後も今日まで市民を支え続けた路面電車に乗車し、連合広島青年委員会のピースガイドを受けながら広島市内の被爆地を車窓から見学しました。また、連合主催の「平和ヒロシマ集会」では、被爆体験証言や平和アピール採択、高校生平和大使の活動報告、長崎へのピースフラッグリレーなどがおこなわれました。

最終日(8月6日)は広島市平和祈念式典に参列し、原爆が投下された8時15分に、犠牲になられた多くの方に黙祷を捧げました。

これまでの運動を継承し、戦争の実相を次世代へ語り継ぐとともに、平和を願うすべての力を結集し、政府や国際社会に対し核兵器廃絶を強く訴え、恒久平和の実現をめざしていきます。

## 日程

日	内容
1日目(8/4)	■ピースウォーク① 時間 15:15～17:20 会場 てつのかじら館、大和ミュージアム
2日目(8/5)	■ピースウォーク② 時間 9:30～12:00 会場 平和記念公園ガイドツアー、平和記念資料館 ■被爆路面電車乗車学習会 時間 13:20～15:20 会場 広島駅～広島港～原爆ドーム前 ■連合2024平和ヒロシマ集会 時間 16:00～18:00 会場 広島上野学園ホール
3日目(8/6)	■「原爆死没者慰霊式・平和祈念式」(広島市主催) 時間 8:00～ 会場 広島市平和記念公園 原爆慰霊碑前

## 参加者

今井 信博	(連合埼玉副会長)
高添 理絵	(UAゼンセン埼玉県支部)
小畑 寿成	(UAゼンセン埼玉県支部)
田村 千紘	(自動車総連/本田技研労働組合埼玉支部)
下條 友久	(電機連合/岩崎電気労働組合埼玉支部)
木村あずさ	(電機連合/日本電波工業労働組合)
新島 亮	(JAM埼玉/ジーテクト労働組合)
進藤 栄	(運輸労連/熊谷通運労働組合)
高橋 巧	(川越・西入間地域協議会/バイオニア労働組合川越支部)
村田 真人	(朝霞・東入間地域協議会/日清紡マイクロデバイス労組)
高橋 則文	(比企地域協議会/J P労組東松山坂戸支部)
上路 伸哉	(西部第四地域協議会/J P労組埼玉西支部)
星野 貴旭	(連合埼玉青年委員会/NTT労組北関東信越総支部)
山北めぐみ	(連合埼玉女性委員会/日本梱包運輸倉庫労働組合)
白戸 貴文	(連合埼玉副事務局長)

①平和行動に参加したのは何回目ですか？

②感想

①初めて

② 連合埼玉の平和の取り組みを実践する連帯活動委員会の委員長として、平和4行動のいずれかに参加をすべく、今回の広島に団長として同行できたことに感謝いたします。3日間の行動において、特に印象に残ったのは「広島県高校生平和大使」の核兵器廃絶や世界平和の実現を国内外に訴える活動でした。

被ばく体験者が少数になる今日に伝道師として活躍されている高校生に心より敬意を表します。参加されたみなさんと派遣を快諾いただいた構成組織に対しまして感謝申し上げます。



今井信博

①3回目

② 今では近代的なビルの群れと青々とした木々が共存する緑豊かな都市の風景が広がっており、79年前、世界で初めて原子爆弾が落とされ何もかもが無くなった灰色の世界であったとは想像もつきませんでした。

そんな中で原爆ドームだけは当時そのままの姿をとどめ、時間が止まっているかのようでした。広島が受けた惨劇を後世に伝え続け、原爆の恐ろしさを世界中の人々に知らしめ、又、世界の恒久平和を願うシンボルとして、多くの人々に直接見て欲しいものだと思います。世界で唯一原爆を投下された国に生きる民として、憤りを感じると共に、反戦・非核化を願ってやみません。



木村あずさ

①初めて

② 広島へは9年ぶりの訪問となりましたが、当時と立場も変わったこともあり、同じ施設を見学するにしても、見え方が変わっていました。

特に広島集会での被爆者の方と生のお話がとても印象的でした。被爆から79年も経過し、実際に戦争や核兵器の恐ろしさを直に体験された方が少なくなっています。現在の日本では平和が当たり前となっていますが、世界では今だ戦争が行われています。過去にお盆休みには「はだしのゲン」「火垂るの墓」のテレビ放映があり、戦争や原爆の悲惨さを学ぶ機会がありましたが、現在は色々な問題で放送がされておらず平和学習において少し残念に思います。

平和は当たり前にあるのではなく、過去の歴史から学び、伝承し維持していくことの重要性を今回の平和行動で再認識しました。



小畑寿成

①初めて

② 今回参加し「戦争」について深く考え、感じる3日間となりました。平和記念資料館にはあまりにも悲惨な写真、被害者や家族の体験談、未だ後遺症に悩む方の言葉などが展示され、奪われた尊い命を想い何度も涙が込み上げてしまいました。連合広島の方の説明を聞きながら乗った被爆路面電車、連合平和ヒロシマ集会や平和祈念式典に参加した事で、今を平和に過ごしていることに感謝しながら、現在紛争に巻き込まれている方々を想い胸が痛みました。ぜひ多くの人に広島を訪れて頂き、戦争の悲惨さを感じ、武力に頼らない平和な世界を願うため「広島史」を知り、戦争について考えてもらいたいと思いました。



高添理恵

①初めて

② 実際に原爆ドームや資料館を見ることで、多くの命を奪い、被爆者の方の身体や心に大きな傷跡を残した原爆や戦争の恐ろしさを痛感しました。被爆を経験されている方の平均年齢も上がってきている中、今回お話を聞いた事がとても貴重な経験となり、今の穏やかな生活がいかに幸せであるかを実感しました。同じ事が二度と繰り返される事のない様、この悲劇を忘れる事なく後世へ伝えていく事が重要だと感じました。



田村千紘

①初めて

② 79年前に広島に原爆が投下され、一瞬で焼け野原になってしまったということは知識としてはありましたが、実際に原爆ドームを見て、被爆しても必死に生きた体験を聞くことで、原爆の恐ろしさを実感できました。今なお世界には核兵器が1万発以上あり、誤って使用されそうになったことも複数あったということを知り、恒久平和の実現には程遠い状況にあることもわかりました。このようなことを繰り返さないためにも、多くの方が折鶴を献納し、黙祷し、平和を願う、広島にとって特別な日に現地を感じたことを、後世に伝えていければと思います。



下條友久



大和ミュージアム



平和ヒロシマ集会



折り鶴の献納

## ①初めて

②今日まで平和が維持されていることの尊さ、大切さを改めて感じつつ、原爆ドームの前に立ち、戦争の悲惨さや原子爆弾の恐ろしさを認識し、二度と繰り返してはならないと感じました。また、平和祈念資料館では、被爆者の写真遺品展示がしてあり、思わず目を背けたくなるものもありました。平和ヒロシマ集会では、被爆者の体験談を聞かせていただき、戦争という悲劇を二度と繰り返してはいけなく痛感しました。平和行動への参加は、自分にとって忘れる事ができない体験となりました。これからも、平和への想いを強く持ち続けたいと、改めて思います。ありがとうございました。



進藤 栄

## ①初めて

②今回、平和行動in広島に参加させていただき、平和記念公園などの原爆投下まつわる施設を初めて視察しました。戦争の恐ろしさ、そして原爆投下の悲惨さを見聞きし、犠牲になった方々のことを思うと心が痛みました。平和行動に参加し、広島での悲劇を人類上で二度と繰り返してはいけなく強く思い、核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けた運動を引き続き進めていく必要があると感じ、私自身にも何ができるのか、考えていきたいと思ひます。



高橋 巧

## ①初めて

②平和行動IN広島で初めて原爆ドーム・平和祈念資料館に行くことができました。いろいろな所で見たり聞いたりはしていましたが、原爆投下直後からの写真を見ましたがあまりの凄惨さに目をそむけたくなくなりました。戦争が起これば当然犠牲者が出ます。その犠牲者の多くは女性や子供などの一般人です。武力ではなく他に選択肢はないのでしょうか。戦後79年の月日がたち、風化されつつありますが、多くの人に語り継いでもらうためにも若い世代の人に多く参加してもらいたいと思ひます。



高橋 則文

## ①初めて

②学生の時に広島に来た時に比べ実際に被爆路面電車で乗車学習をしたり、平和ヒロシマ集会に行き当時の写真や動画、被爆者の声を聴くと改めて考えさせられる経験となりました。被災者の声を聴く事ができるのもそう長くはないと聞いており、この悲惨な経験を繰り返さないことが必要な事だろうと感じました。この経験を他の人につないでいけるようにまた、こういったことが起きないようにするためには自分に何ができるのかを考えてみようと思ひます。



星野 貴旭



参加者の皆さん

## ①初めて

②平和行動を通じ、戦争・核兵器・平和について深く考える機会を得られたことは貴重な経験となりました。ピースウォークで見聞した原爆の凄惨さ、79年経った今でも続く被爆後遺症の実情、戦争の愚かさを改めて痛感できました。「もう二度と被爆者をつくりたくない」「地球上から核兵器をなくしたい」という被爆者の想いを「世界で唯一の被爆国」である日本で暮らす私たちが語り継ぎ、平和を守る努力をしなければいけないと強く感じました。今回、全国の労働組合のメンバーと共に戦争・核兵器・平和について後世へ伝えていくことが連合に所属する私たちに課せられた使命と考え行動しなければならぬ感じました。



新島 亮

## ①初めて

②終戦から79年目を迎えての8月6日に平和記念公園での平和祈念式をはじめ、ピースウォークや乗車学習会、平和ヒロシマ集会に参加させて頂くなど、貴重な体験をすることができ、平和への思いを改めて考え直す機会となりました。平和記念資料館では原爆の怖さや被爆の悲惨さを思い知り、平和ヒロシマ集会では被爆された方から直接話を伺い、また中学生たちの核兵器廃絶への強い思いに感動しました。この平和への願いを途絶えさせてはいけなく、後世に引き継がなければならないの思いを心にとめ、身近な人へ少しでも広げていくことが大切なのだと感じました。



村田 真人

## ①初めて

②初日のくじら館を見て瀬戸内海にたくさん機雷が敷設されていたのを初めて知りました。二日目は広島市内を走る広電に乗り被爆した電車が今でも走り当時の様子を連合広島が語ってくださり、平和公園と平和記念資料館で、原爆の恐ろしさと脅威、当時の犠牲者の無念を知りました。最終日は平和記念式典を物々しい警備の中、八時十五分に黙とうし、核なき世界の実現と世界の平和を祈りました。



上野 伸哉

## ①初めて

②今回は、貴重な体験をさせていただいた3日間でした。ありがとうございました。学生時の修学旅行以来で平和記念資料館を見学させていただきました。改めて、世界で唯一の被爆国であり、その日本の中で最初に被曝した「広島」を目の当たりにし、原爆と戦争に対する思いは他国より大きくかつ揺らがないものであるべきだと感じました。私自身も母となって視線が変わったこともあり、三輪車や当時持たせたお弁当を見て涙が止まりませんでした。風化していく戦争という悲劇を後世に伝えるためにも、1度は訪れ自分の目でみて感じたことを心に留め、平和を願うだけでなく、幅広い年代の人たちと友好の輪を創り、今自分達に出来ることは何かを考え、共に行動し、希望の輪を広げていく事が大切だと感じました。



山北 めぐみ

## 平和行動in長崎

8月8日(木)～10日(土)に「連合平和行動in長崎」が開催され、連合埼玉から7名が参加しました。天候不順により長崎空港への到着が遅れましたが、連合主催の「2024平和ナガサキ集会」に参加し、当時18歳で爆心地から1.8Kmの長崎師範学校の寮内で被爆された築城昭平氏の苦難の体験談、そして長崎大学核兵器廃絶研究センター長の吉田氏から基調講演を聴きました。

翌日の8月9日(金)には、長崎原爆資料館にて「長崎原爆犠牲者慰霊平和式典」をモニター鑑賞し、原爆投下時刻の11時02分に全員で黙とうをおこないました。その後、原爆落下中心地公園・平和公園内のモニュメント・碑を巡る「ピースウォーク」に参加し、夕方からは、全国から参加した組合員・家族等が平和へのメッセージを書き込んだ万灯を浦上川縁に置く「万灯流し」に参加しました。

原爆は、一瞬にして多くの尊い命を奪ってしまう兵器です。これまで被爆者の方々は、核兵器廃絶を訴えながら、長い、苦しい時間を過ごして来られました。79年前、長崎でもがき、苦しむ人たちに思いを馳せた時、『二度と繰り返さない』『この地球上に核兵器はいらない』と誰もが感じるはずです。参加された方々にとっては、これから先、忘れることのできない大切な思い出になるとともに、「平和行動」の重要さを身をもって感じる事ができた3日間となりました。

## 日程

1日目(8/8) ■連合2024平和ナガサキ集会  
時間 15:30～17:30  
会場 長崎県立総合体育館・メインアリーナ

2日目(8/9) ■長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典  
時間 10:30～11:45  
会場 長崎原爆資料館モニター  
■ピースウォーク  
時間 14:00～16:30  
会場 原爆落下中心地公園・長崎市平和公園  
■万灯流し  
時間 19:00～20:00  
会場 市営陸上競技場

## 参加者

川瀬 豊治 (JAM埼玉/リズム労働組合)  
磯部 直郁 (運輸労連/全日通労働組合東京支部)  
持田 佳史 (熊谷・深谷・寄居地域協議会/JFE建材労働組合熊谷支部)  
柳原 雅敏 (秩父地域協議会/秩父富士労働組合)  
清水 夕貴 (連合埼玉青年委員会/つばめタクシー支部)  
目崎 友貴 (連合埼玉女性委員会/NTT労組北関東信越総支部)  
矢島 規雄 (連合埼玉副事務局長)

## ①2回目

②2024連合平和行動in長崎へ参加させていただきました。2017年に広島へ参加しており、7年が経過しました。この間、世界が平和に近づいたのかと言えば、むしろ紛争や気候変動、地震多発など、平和からは少しずつ遠ざかっている状況ではないでしょうか。核の廃絶、戦争の無い世界は、人の力でしかなし得ません。核を持つことで抑止力とするなどという人類の命をチップにしたチキンレースをいつまで続けるつもりなのか、核保有国の政府の方々には、この長崎や広島を訪れて、真剣に考えていただきたいと切に願います。核の悲惨さ無情さは、破壊力だけでなく、使われた後にあります。子孫に、大地にどのような影響を残してしまうのか、命だけでなく、住む場所さえ奪ってしまう、それを伝えていくことが私達、唯一の被爆国である日本人の務めだと、改めて思いました。この活動がやがて国々を、人々を動かすことを期待します。



川瀬豊治

## ①初めて

②幼少期より祖母より戦時中の話や、テレビや授業で原爆の恐ろしさについては分かっていたつもりでしたが、今回平和行動に参加して、分かっていた「つもり」であったと痛感しました。原爆資料館や平和記念公園の見学や、語り部の方からのお話などの全日程を通して、長崎に暮らす方々の「長崎を最後の被爆地に」という平和への想いと、後世に引き継がなければならないという強い思いをひしひしと感じました。「ピリョクだけどもリョクじゃない」の高校生平和大使の言葉には、地球全体の課題でもある「平和」に対して、何もできないと思っていた私自身ハッとさせられました。来年で戦後80年という節目を迎える今、今なお「平和」の為に活動されている方々に対して応援しつつ、自分に何ができるか、何をすべきか考え続け私自身も微力ながら伝えられる様になりたいです。



目崎友貴

## ①初めて

②今回の長崎は飛行機に乗るスタートからトラブルがあり色々忙しい3日間でした。ただ、現地に着いてから原爆に関する資料、写真、講話等を見聞きし、如何なることが起きてても平和に対する気持ちは不変の物であり、守り続けなければいけない物なのだ改めて思い直す事が出来ました。今後も平和を常に意識し自分が出来る事を行ってまいります。



持田佳史

## ①初めて

②長崎の平和行動は初めて参加させていただきました。長崎に原爆が投下されてから79年目を迎え、今尚、被爆者の方々は心身ともに苦しんでいる実情に触れ、平和への意識を強く持ちました。世界にはまだ約1万2千発の核兵器が存在し、その威力は長崎の原爆の何千倍以上とも言われています。今後も核兵器のない平和な世界を実現するためにも活動を続け、第二第三の被爆国を出さないために、私たち自身が核兵器廃絶を世界に発していかねばならないと思います。



柳原雅敏



参加者のみなさん①



連合平和集会



ピースウォーク



折り鶴献納



万灯に思いを込める



参加者のみなさん②

## ①初めて

②座学で知った長崎原爆投下。実際に現地に行き長崎の人々の原爆に対する熱意を肌で感じ取れたのはとても有意義な平和行動でした。戦争体験者、被爆者の人数が減っていき語り部をする方が居なくなってしまうますが、しっかりと若者達に受け継いでいると感じました。8月6日、8月9日は平和を考える日にしたいと思います。



清水夕貴

## ①初めて

②初めて長崎平和集会に参加いたしましたが、改めて核兵器の恐ろしさを目のあたりにしました。原爆資料館にて長崎型原爆(ファットマン)の威力は21,000トン分の高性能火薬の爆発力相当で、例えば4t積トラック約5,200台分のダイナマイトが頭上で一度に爆発した場合に相当の事になります。今後とも核兵器廃絶に向けた運動の継続で恒久平和を願うばかりであります。



儀部直郁

## ネットワークSAITAMA21運動の自然体験

### 夏休み親子自然体験教室「山の学校inときがわ」

本年も夏休みを利用して親子で自然に触れることにより、自然環境の大切さを学ぶことを目的に比企郡ときがわ町にて「山の学校inときがわ」を、8月3日(土)に12家族45名、ボランティアスタッフ22名、事務局7名、あわせて74名の参加者で開催しました。

当日は35℃を超える猛暑の中、川の広場バーベキュー場において、水遊びとバーベキューを楽しむ「川の広場バーベキュー場での川遊びコース」と、都幾川上流の探検後に、バーベキュー場へ合流する「とき川上流での川遊びコース」の2コースを設けました。参加者はテント設置から火起こし、バーベキュー、そして食後には子どもたちがスイカ割りをおこない、甘いスイカを参加者全員で味わうこともできました。

いまでも豊かな自然が残る都幾川で家族とともに過ごす1日は、子どもたちにとって、思い出に残る貴重な一日となったことと思います。

また、このNPO法人ときがわ山里文化研究所と連携した自然体験の実施活動については、今年度限りとなります。今後はNPO団体と連携した「自然環境ボラン



竹内委員長挨拶



スイカ割り

ティア促進、自然環境体験事業」に即した新たな事業を企画・立案していきます。今までのご支援ありがとうございました。



参加者のみなさん

### 夏休み親子・ファミリー自然体験プランin尾瀬

ネットワークSAITAMA21運動では8月17日(土)～18(日)に構成組織の組合員とその家族、事務局をあわせた11名で尾瀬の自然に触れ、自然の大切さと保全の重要性などを学ぶ機会として「夏休み自然体験2024in尾瀬」を開催しました。

1日目の昼食を「かもしか食堂」にて、そば定食を満喫した後に出発。全長11.0km先の東電小屋をめざしました。ガイドの方から尾瀬の自然について説明を受けながら、17時すぎに東電小屋に到着しました。

2日目も晴天の中、全長8.8kmのゴールを目指し出

発しました。

最後に待ち受けるキツイ登り坂も自力で踏破して、全員無事に鳩待峠に到着しました。心地良い疲れと達成感の中、満面の笑みでおにぎり弁当をおいしくいただきました。

今回の自然体験は天候にも恵まれ、尾瀬の自然の豊かさや雄大さを満喫することができ、その自然を人の手で汚すことのないよう保全していくことの重要性を感じることができました。



参加者のみなさん



東電小屋



尾瀬木道



尾瀬ガイド説明

連合エコライフ  
環境にやさしい生活

ダテロード

1

環境に配慮した製品を選択しよう

ECO

●消費製品の購入は、品目別購入でOK!

2

国産および身近な地域でつくられた食品や製品を選ぼう

●利用するから、産地別の品目がわかるように表示されています。

3

電化製品を上手に使うことで消費電力を減らそう

●省電力モードで待機電力削減。

4

水の蛇口はこまめに閉めよう

●手もよく洗おう。人口には汚濁水、洗剤やトイレには漂白剤を。洗面器の汚れをこまめに洗うとこまめに洗うと、お湯も節約、節電を。

5

通勤はエコ通勤・エコドライブで

●通勤は遅延を避けて、定時着。

6

ゴミは減量し、再利用可能な資源を分別して有効利用しよう

●テイクアウトの容器は、しっかりと洗って再利用しよう。  
●ゴミ出しは、正確なごみ分けのルールを守ろう。

7

マイエコバック、マイスプーン、マイフォークを利用しよう

8

食品廃棄・ロスは減らそう

●使い捨ての容器は、4割に減らすのを目標にしよう。

9

使った感はリサイクルへ。木材製品は国産材・間伐材のものを選んで森林にやさしく

日本労働組合総連合会(連合)

※ 成分や用法について、取り扱い事項を守ってください。

### 現在予定される9月の日程表です

9月		行事等	
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	日		
2日	月		
3日	火		①連合「2024年度連合政治研修会」(13:00～・WEB) ②令和6年「第2回強い経済の構築戦略会議」(15:10～・知事公館)
4日	水	議員会議「第3回幹事会」(18:00～・連合埼玉会議室)	①連合関東ブロック「第4回幹事会」(12:00～・連合会館) ②連合「地方連合会事務局長会議」(13:30～・連合会館) ③特定最低賃金合同専門部会議(13:30～・埼玉労働局) ④退職者連合「全国高齢者集会」(13:30～・文京シビックホール) ⑤埼玉労福協「第3回地域労協代表者会議」(13:30～・こくみん共済coop埼玉推進本部会議室) ⑥埼玉労福協「第3回政策制度会議」(15:00～・こくみん共済 coop 埼玉推進本部会議室)
5日	木		
6日	金	① 平和行動in根室(6～8日・根室市) ② 外部会計監査(9:30～・連合埼玉会議室)	
7日	土		①埼玉県電力総連「第44回定時大会」(9:30～・さいたま共済会館) ②電機連合埼玉地方協議会「第64回定期大会」(13:00～・ときわ会館)
8日	日		
9日	月		フードバンク埼玉「第1回理事会」(15:00～・コープみらいプラザ浦和)
10日	火	第10回四役・執行委員会(10:00～・13:00～・ときわ会館)	こくみん共済coop埼玉推進本部「事業報告会」(16:00～・ときわ会館)
11日	水		①連合関東ブロック「海外視察」(11～16日・ベトナム) ②令和6年度「埼玉県地域両立支援推進チーム」会議(14:00～・埼玉労働局雇用保険説明会)
12日	木		連合関東ブロック「海外視察」(11～16日・ベトナム)
13日	金		①連合関東ブロック「海外視察」(11～16日・ベトナム) ②令和6年9月審査運営協議会(15:00～・北関東地域審査事務センター)
14日	土	埼玉シニア連合「第11回ボウリング大会」(浦和スプリングレ恩斯)	①連合関東ブロック「海外視察」(11～16日・ベトナム) ②運輸労連埼玉連合会「第57回定期大会」(13:30～・大宮情報文化センター JACK大宮)
15日	日		連合関東ブロック「海外視察」(11～16日・ベトナム)
16日	月		連合関東ブロック「海外視察」(11～16日・ベトナム)
17日	火		
18日	水	メンタルヘルスセミナー(基礎編)(13:30～・あけぼのビル)	朝霞・東入間地域協議会「幹事会」(18:30～・ふじみ野市ステライースト)
19日	木	連合埼玉「第32回チャリティーゴルフ大会」(おおむらさきゴルフ倶楽部)	
20日	金		県央地域協議会「第8回幹事会」(18:30～・労金上尾支店)
21日	土		比企地域協議会「政策研修会」(13:00～・ポッシュ労働組合)
22日	日		
23日	月		
24日	火	①2024年度埼玉県に対する政策・制度要請(10:00～・県知事室) ②埼玉シニア連合「第5回四役会・第6回幹事会」(13:00～、14:10～・あけぼのビル502) ③第4回連帯活動委員会(13:30～・連合埼玉会議室) ④女性のためのステップアップセミナー(中級編)(14:00～・あけぼのビル501)	フードバンク埼玉「理事会」(15:00～)
25日	水	①第3回労働政策委員会(15:00～・あけぼのビル502会議室) ②第4回ライフサポート運営委員会(15:30～・連合埼玉会議室)	①中央労働金庫「企画委員会」(11:00～・中央労働金庫本店) ②中央労働金庫「理事会」(13:30～・中央労働金庫本店) ③特定最低賃金(自動車小売)第2回専門部会議(9:30～・埼玉労働局)
26日	木	第3回地協議長・事務局長会議(14:00～・ときわ会館)	
27日	金		連合関東ブロック「政策フォーラム」(15:30～・水戸京成ホテル)
28日	土		①中央労金労組「第24回埼玉統括支部大会」(10:00～・さいたまビル) ②比企地域協議会「チャリティーゴルフ大会」(大森生ゴルフクラブ)
29日	日		
30日	月	第5回ジェンダー平等多様性推進委員会(15:00～・連合埼玉会議室)	連合「公契約条例シンポジウム」(14:00～・WEB)

「男女平等参画,ジェンダー平等の推進,均等待遇,仕事と生活の調和(ワークライフバランス)」に向けた標語優秀賞  
◇見直そう 仕事と私事の 時間割 (埼玉県電力総連 東電労組埼玉地区本部熊谷支部・成田 龍世)

※2024年度 ジェンダー平等・多様性推進に向けた「トップリーダー宣言」、標語については、連合埼玉ホームページにも掲載されています。



### ◆国民に感動をあたえてくれた「パリ2024オリンピック」が閉幕!

「パリ2024オリンピック」が、7月25日(日本時間)に実施されたサッカー男子一次ラウンド(アルゼンチン×モロッコ戦)を皮切りに競技が開幕し、7月27日(日本時間)には開会式がおこなわれ、8月12日(日本時間)に開催された閉会式をもって閉幕した。

4年前に実施された「東京2020オリンピック」では、オリンピック史上最多となる33競技339種目が実施され、今次オリンピックでは32競技329種目が実施された。

日本チームが今大会で獲得したメダルは、金メダル20個、銀メダル12個、銅メダル13個の合計で45個となり、金メダルの数ならびにメダル獲得総数ともに、これまで海外でおこなわれたオリンピックでは、過去最多の結果であった。

#### 【パリ2024オリンピック】金メダル獲得上位3国

	金メダル	銀メダル	銅メダル	メダル計
アメリカ	40	44	42	126
中国	40	27	24	91
日本	20	12	13	45

#### 【東京2020オリンピック】金メダル獲得上位3国

	金メダル	銀メダル	銅メダル	メダル計
アメリカ	39	41	33	113
中国	38	32	19	89
日本	27	14	17	58

この間、日本の選手たちの懸命に戦う姿をつうじて、広く国民に感動を与えてくれた。また、将来の子供たちに夢と希望を与えてくれた。

あらためて、すべての選手を称えたい。

個人的には、女子柔道、前回の金メダリスト 阿部 詩選手の試合直後の号泣する姿、そして観客から沸き起こる“UTAコール”が、最も印象に残っている。しかし、この涙に対しては、共感・応援する声がある一方で、批判の声も上がっている。

オリンピック出場には誰もが憧れ、出場するために夢を抱き、その夢(目標)にむかって努力を惜しまず、日々、鍛錬を繰り返している。そして、オリンピックで金メダルがとれるように、コンディションを整え、当日の試合に臨んでいる。さらに、日本代表としてのプレッシャーが申し掛か

る中、それらに打ち勝ち、相手に勝利しなければならない。

阿部選手も兄妹二連覇が求められている中で、まさかの二回戦での敗退であった。

この4年間の努力、申し掛かるプレッシャー、応援にえられなかったことなどを考えると、号泣する姿があっても良いのではないかと感じる。全ての選手が全力を尽くして戦っている。全身全霊をかけてオリンピック連覇に挑んだ姿が観客から感銘を受け、温かい“UTAコール”につながったのではないのでしょうか。

4年後に開催予定の「ロサンゼルス2028オリンピック」での活躍を心から祈念する。

### ◆来る参議院議員選挙に向けて!

4年周期のオリンピックも閉幕し、来年には6年周期の参議院議員選挙を迎えることになる。

日本の政治を取り巻く情勢は、政権与党である自由民主党の「政治とカネの問題」などを踏まえて、国民の政治への不満や政治離れなどにより危機的な状況が続いている。

そのような中、岸田総理から、次期、自由民主党総裁選挙に立候補しない旨の発表があった。急遽の発表であり、誰もが驚いたことだろう。今後、候補者が出揃い、9月28日には新総裁が決定することになっている。

是非とも、国民から信頼され、共感がもてる新総裁が選ばれることを願うばかりである。

一方、立憲民主党 泉代表の任期満了にともなう代表選挙が、9月7日告示、23日投・開票の日程でおこなうことが決定された。

現在、前代表の枝野氏が出馬表明をしており、今後、現職の泉代表を含めた候補者が立候補する予定となっている。また、選挙期間が党の規則上、最長の17日間となっており、「野党第1党として政策議論をアピールする機会にしたい考え」が示されている。

自由民主党総裁選と立憲民主党代表戦が同時期におこなわれるが、お互いの政党批判などではなく、日本の将来にむけた政策議論、国民のための政策議論を是非ともおこなってもらいたい。特に、立憲民主党代表戦では、政権交代を任せられる、そして構成組織からも賛同を得られる代表を選ぶ選挙戦を繰り広げてもらうことを願うばかりである。

来年7月施行予定の参議院議員選挙には、比例代表選挙への組織内候補予定者の立候補が予定されている。それぞれの組織が、組織内候補予定者の勝利にむけて活動を展開しており、これまでの活動の集大成が獲得得票数としてあらわれてくる。従前は、日常から連携している政党の支援票が期待されたものの、現状では自組織で活動した、あるいは、汗をかいた以外の獲得票の上乗せは極めて厳しい状況にある。

これまでの活動を総点検し、悔いを残すことのないよう全力で取り組んでもらいたい。

2024.8.23